

## 徳島県総合計画審議会計画推進評価部会報告

1 開催日時 平成17年8月2日(火) 13:30~15:00

2 いただいたご意見の概要

(1) オンリーワン徳島行動計画全体について

実績値の出た指標の約9割が「達成」及び「順調」と全体としては非常にいい数字であり、徳島県がいろいろな面で変わってきているのではないかと。

評価に当たっては、数字の達成度だけでなく、質の面、中身が問題である。達成度3(努力を要する)については、達成状況の説明だけでなく、その理由、原因の分析を入れるべきであり、また達成度1(達成)についても、達成できた効果、結果についてもPRして欲しい。

基本目標の中にはいろいろなテーマがあるが、その中でも優先順位をつけ、今年はこの達成するというものがあつたのかどうか。

300もある施策を個別に一つひとつ評価するのではなく、重点施策の推進方向のテーマごとの評価の方が分かりやすいのではないかと。

数値目標自体がどの程度の妥当性があるのか、本当に必要な数値なのかどうか、あるいはそれが足りた数値であるのかという辺りがよく分からなかった。

目標という考え方では、県として県だけでできることと、県民私たちみんながやらないとできないことというのがあると思う。

県民と一緒に意識を変えるだとか、経済の活性化だとかという大きなことはやはり時間がかかるだろうし、行動計画としてはすぐに評価はできないものだと思う。

達成度3で目標があまり到達していないというのは、やり方が悪いのか、テーマ自体、目標設定自体に問題があるかということも結構あると思うので、やはり、達成感のある、現実可能な目標設定をしていただきたい。

意識を変える部分について言えば、この事業の中でも、自分たちの知らないことがいっぱいあつたので、もっと広告予算をとって、事業の周知徹底をして欲しい。そうすれば、みんなもっと協力できるし、一緒にやれることがたくさんあるように思う。

## ( 2 ) 個々の施策、事業の進捗状況について

### 「オープンとくしま」の実現

とくしま県民活動プラザ利用者数は達成度が1となっているが、今年度になって非常に利用しづらくなった。( 10 )

土曜日夜の会議室や印刷はみんながよく使っていた時間帯なのに、なぜ6時から使えなくなったのか疑問に思う。

8月6日から9時まで利用できるように変更した。

県下初の県南部を統括する「南部総合県民局」が新しくできたが、組織の改変というのは一番大きく変化を感じるポイントになるのではないかと思う。

### 「経済再生とくしま」の実現

県内木材需要に占める県産木材の比率については、徳島のスギの良さやスギを使う理由とかをマスコミや広報等を通じてもっと広めて欲しい。( 29 )

今のブランド戦略とか、「新鮮なとくしま号」トラック、「安<sup>2</sup>認証制度」の構築とか、農業者としては励みになる政策だったと思う。( 53、58 )

ただ、それが農業関係者まで周知徹底されていないので、県下全域に周知するような方策も考えて欲しい。

また、こういう色んないい政策を、マスコミを通じて、県外にも広くアピールして欲しい。

### 「環境首都とくしま」の実現

アスベスト(石綿)の問題であるが、「とくしま生活環境づくり」の中に、この項目や目標設定について再考して欲しい。

### 「安全・安心とくしま」の実現

南海地震に関連して、自主防災組織の育成に努めているが、どうやって広げていくかが問題であり、また、特に災害弱者の居住状況をこういった自主防災組織が掴んでいることが災害時に力を発揮すると思うのだが、個人情報保護の問題があり、難しくなっている。( 154 )

耐震診断が進んでいない地域についてはできるだけPRをしていただきたい。また、それによる耐震改修についても、実績がかなり低いので、制度の周知とその必要性に対して行政から訴えかけていただきたい。( 167、168 )

医療に対する需要と供給が非常にずれてきているので、それをできるだけ柔軟に対応するような、そういう施策が必要なのではないかと思う。

病院に対しては、サービス過剰になることを求めているのではないが、必要最低限のサービスは必要であり、地元の個人病院との住み分けの中で、県立病院の位置という辺りも明確に広報、周知していただけたらと思う。

#### 「いやしの国とくしま」の実現

個性豊かな教育の推進ということで、教育委員会では高校入試制度の改革を進めているが、高校側も個性は校舎の新しさや制服の格好良さなどのハードではなく、ソフトで勝負するという考え方に改めて欲しい。

オンリーワンハイスクール実施は非常に面白い取組だが、その内容については、情報の一元化を進めていく必要があるのではないか。( 214 )

#### 「ユニバーサルとくしま」の実現

「地域子育て支援センター」については、市町村合併が進んだことによって、お互いに子育て支援の気運が大きく刺激し合って、今まで動きにくかった県南、県西部で子育て支援頑張ろうという声があがってくるようになった。( 268 )  
また、「家庭いきいき支援者養成講座」は大変人気があり、受講者の数値は上がっているが、この終了した方たちが地域で活躍できる場が非常に少なく、どうもそれが繋がっていかない。( 220 )

「すきっぷ」を2年間運営しているが、相談が多すぎて駆け込み寺のような状態になっているので、まず、子育て支援センターの協定を作っていて、地域の中にそういう相談ができる居場所づくりが早急に求められているように思う。

少子化問題については、子供を育てる環境にバックアップできるような、女性が働きやすい職場づくりが重要なので、企業の啓発に県の力を貸していただきたい。

ユニバーサルデザインを推進しようとする中で、「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」は中身が非常に古いので、今の動きに合った内容のものに改正して欲しい。

#### 「にぎわいとくしま」の実現

道の活動というものをしているが、道路整備も県南は遅れているので、広い土地をもっと有効に使えばいいと思う。